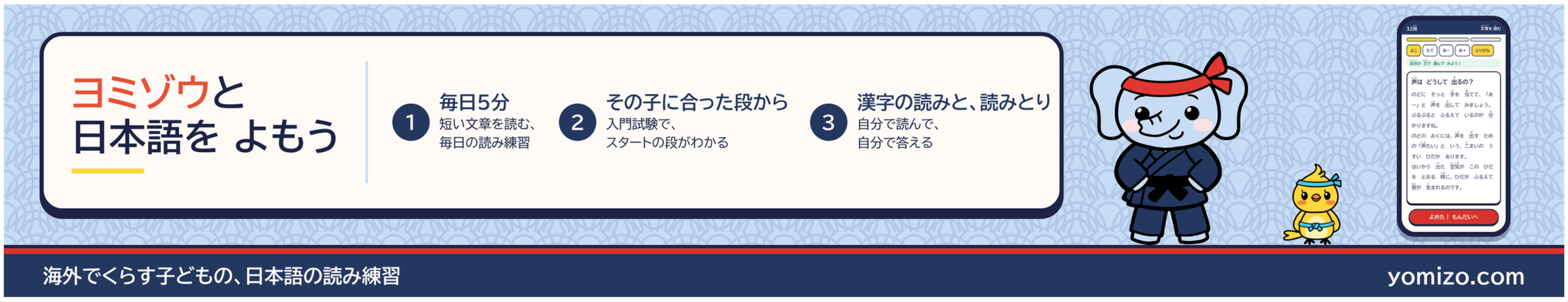
報道関係者各位

2026年11月19日
Singing Bird

海外でくらす子どもの『日本語の学びをもっと簡単に楽しく』日本語の読み練習ウェブ教材「ヨミゾウと日本語をよもう」が、先着30人の先行メンバーを募集

～世界のどこからでも学べる、1日5分の日本語学習。無料の入門試験で、その子に合ったレベルから～



イギリスで個人事業を営むSinging Bird（代表：小林美鳥）は、海外でくらす日本の子どもや、日本に来たばかりで国語の理解につまずく子ども向けの日本語の読み練習ウェブ教材「ヨミゾウと日本語をよもう」（以下、ヨミゾウ）のサービスを開始しました。12月の本公開に向けて、現在、先行メンバーを募集しています。
先着30人の先行メンバーは、通常月1,200円（税別）のところ、月980円（税別）でサービスを受けることができます。登録は無料で、サービス開始後ずっとこの値段で取り組むことができます。先行メンバーの登録後、サービスの購入は必須ではありません。

入門試験と先行メンバーの登録　https://yomizo.com

■「補習校に通って、宿題もやったのに、なんでわからないの？」

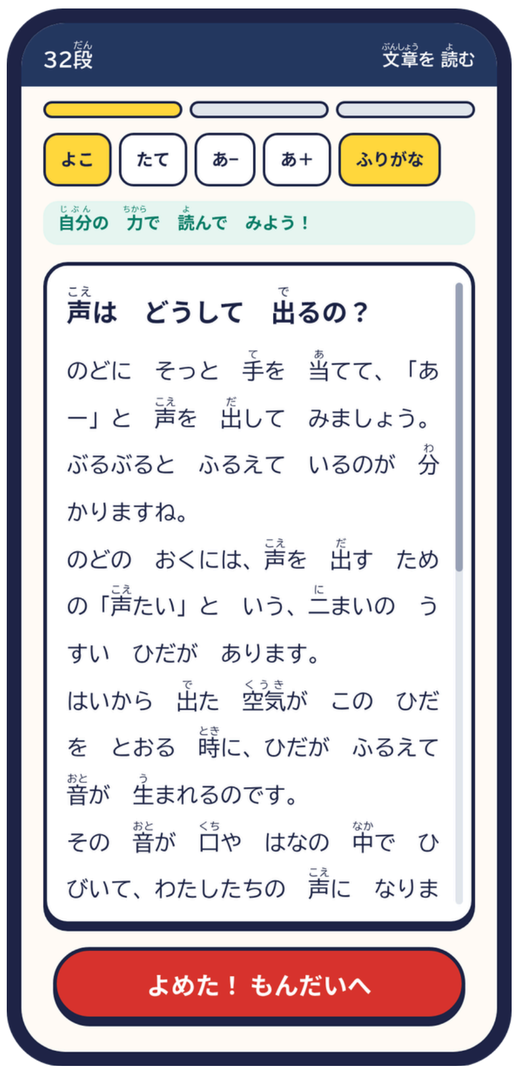
海外でくらす日本の子どもの多くは、週に1回など（もしくは毎日の放課後）日本人補習校（日本語補習校の場合もあり）で国語を学んでいます。補習校での授業は日本の教科書をベースとし、日本に帰国後のスムーズな学習移行を目的としています。ところが、補習校に通っていたとしても、家庭で気をつけていない限り日本語の文章を読む量は、日本でくらす子どもよりずっと少なくなります。
そのため、家では日本語を話すのに、文章の理解が難しい子どもたちがいます。日本の教科書では、2年生では習う漢字が160字になり、1年生の2倍にふえます。学年が上がるたびに教科書がむずかしくなり、読むことそのものが苦しくなるため、日本語を学ぶ意欲を失う子どももいます。
保護者にも悩みがあります。両親のどちらかのみが日本語を話す場合、家庭での日本語教育の継続は想像よりも大変なものです。毎週、新しい単元の教科書にふりがなをふり続けるお母さん。宿題の問題を子どもの代わりに読み続け、「いつまで続くのだろう」と感じているお母さん。現地校の宿題もあるなかで、日本語まで毎日つきあう時間がとれない家庭も少なくありません。

■ ヨミゾウでできること

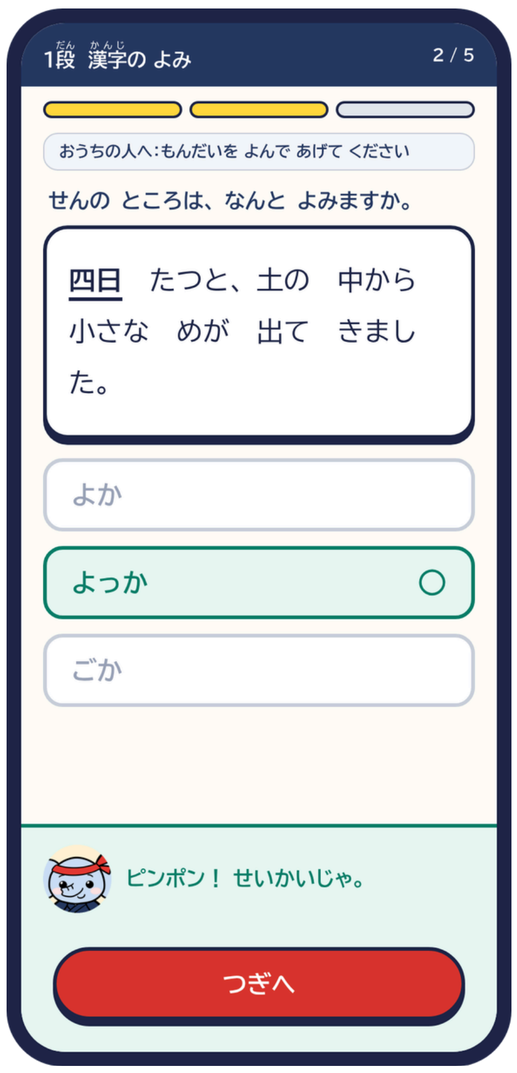
- **毎日5分の読み練習**
- **その子に合ったレベルから**
- **「興味は高く、読みやすさは低く」の文章**
- **自分で読んで、自分で答える**
- **日本の文化を感じる忍者のキャラクターと学ぶ**
- **保護者は学習進捗を別画面で確認**

対象は5～10歳です。10歳をこえて読む力に不安がある子も、下の段からさかのぼって学べます。世界のどの国からでも使えます。

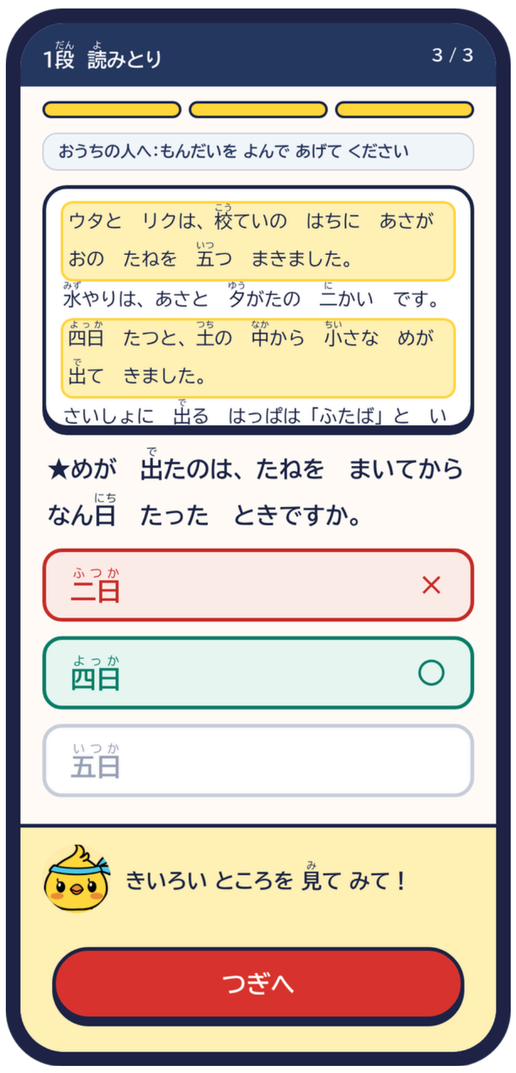
画面のイメージ



文章を読む
32段の説明文。ふりがなは切りかえられます



漢字の読み
正解するとヨミゾウがほめます



読みとり
まちがえると、答えのある行が黄色に



おうちの方の画面
読んだ文章や、わからなかった字がわかります

※画面は開発中のものです

日本で学ぶ、外国語が母語の子どもにも

日本の学校にも、日本語の読みに苦労している子どもたちがいます。文部科学省の調査（令和7年度）では、公立学校で日本語指導が必要な児童生徒は84,759人で、過去最高になりました。この9年間で、約2倍にふえています。

家族と外国語で話して育った子どもは、学校で友だちと話せるようになっても、教科書の文章を読むところでつまずくことがあります。友だちと話す「会話の日本語」と、教科書の「学ぶための日本語」には、大きな差があるからです。

これは、海外でくらす日本の子どもが、日本語でつまずくところとよく似ています。開発者自身も、子どもたちがイギリスで英語を「話せる」から「読める」になるまでを、そばで見てきました。

ヨミゾウは、学年ではなく、いまの読む力に合った段から始められます。ふりがなを表示でき、やさしい文とことばで書いた文章を、毎日少しずつ読みます。1年生向けの段は保護者と一緒に使う前提ですが、それより上の段は、子どもが自分で読んで、自分で答えます。日本で学ぶ、外国語が母語の子どもたちにも、「日本語の文章を自分で読める」ようになるための毎日の練習として使っていただけると考えています。

日本語指導の教室や、放課後の学習支援の場で使っていただくこともできます。学校・塾・支援団体の方は、info@yomizo.comからお問い合わせください。団体向けのプランも準備中です。

開発のきっかけ

開発したのは、イギリスに住み、補習校で日本語を教えている日本人の母親です。

彼女の子どもがイギリスに来たとき、現地の学校では、その子の英語のレベルに合った「読み」の課題が出されました。子どもは、小さな階段を一段ずつ上がるように読む力をのばし、3年ほどで、イギリスの子どもたちと変わらないくらいの英語の力がつきました。

一方、補習校の授業は学年の教科書どおりに進みます。その子に合ったレベルまでいったん戻って読む力を取り戻せれば、日本語の勉強はもっと楽しくなるはずです。でも、補習校など学校の先生が一人ひとりに合わせて宿題を出すのはむずかしい。そこで、家庭で毎日5分、その子に合った文章を読めるウェブ教材を作りました。

ヨミゾウが目指すのは、子どもが日本語の文章を、自分で読めるようになることです。

先行メンバー募集の内容

人数	先着30人
料金	通常 月1,200円（税別）のところ、月980円（税別）（お子さん1人目）。年払いなら年9,800円（税別）。続けているあいだは、ずっとこの価格のままご利用できます
登録	無料。サービスが始まっても、申し込む義務はありません。 公開の前に、メールにて本登録のご案内をします。
申し込み	https://yomizo.com（お試しの入門試験〈無料〉も、同じページから受けられます）

※料金には、お住まいの国の税金が加わります。お支払いの基準は日本円で、各国のクレジットカードでお支払いできます。

■ こんなご家庭に

- お子さんが補習校に通っていて、宿題や教科書の読みに追いつくのがたいへん
- 補習校には通っていないけれど、子どもに日本語を読めるようになってほしい
- 通信教育をするほどではなかったけれど、最近、子どもの日本語が気になってきた
- 日本の学校に通っていて、家庭では外国語で話している
- 最近日本に引っ越してきた、外国語が母語の子どもがいる

■ サービスの概要

- サービス名：ヨミゾウと日本語をよもう（略称：ヨミゾウ）
- 内容：日本語の読み練習ウェブ教材（海外でくらす日本の子ども、日本で学ぶ外国語が母語の子ども向け）
- 対象：5〜10歳（10歳以上も、下の段からさかのぼって学べます）
- 公開：2026年12月（予定）
- 料金：月1,200円（税別）、きょうだい1人につき＋月600円（税別）
- ウェブサイト：https://yomizo.com

■ 運営者の概要

- 運営：Singing Bird（代表　小林美鳥）
- 所在地：イギリス
- 事業：広報・ライティング・動画のコンサルティング、ヨミゾウの開発と運営
- 代表の経歴：元テレビディレクター（NHKや民法キー局にて、バラエティ・報道番組をディレクション）。
  イギリスで子育てをしながら、補習校で日本語を教えている

このリリースに関するお問い合わせ
Singing Bird　ヨミゾウ担当：小林美鳥　／　メール：info@yomizo.com
取材のご相談、画面の画像・キャラクターの画像のご提供ができます